

医療従事者奮闘に感謝

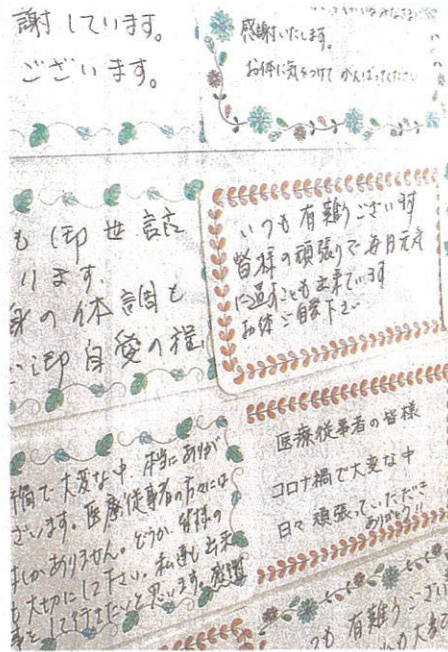
コロナ禍 真庭地域の愛育委員 37機関へ

たくさん命を守ってくださり、ありがとうございます。真庭地域の愛育委員たちが医療従事者宛ての手書きの一言メッセージをボードに貼って、真庭市と新庄村の37医療機関に1枚ずつ贈っている。新型コロナウイルス下での奮闘に対する感謝の気持ちを届ける。(小畑誠)



金田病院の金田理事長(左から2人目)にメッセージボードを手渡す杉本会長(中央)ら

手書きメッセージボード



びっしり貼られたメッセージ

「大変な現場で戦っているみなさまに感謝いたします」「ご自身の体も大切に」など、とつづっている。漢字に笑顔を取り込んだ「笑い文字」でしたためた医療機関名や、「ありがとう」の平仮名を組み合

わせた「感謝」の漢字も入る。15日にトップを切ってイケヤ医院(同市久世)と金田病院(同市西原)に贈った。金田病院に
真庭保健所管内の愛育委員連合会の全647人が8月半ばから、カードや便せんに感謝やねぎらいの言葉を1人1枚ずつ記入。病院用(A1判)と、医院・診療所用(A3判)のボードにびっしり貼り付け、9月半ばに計37枚を完成させた。
ボードは順次、同連合会の各支部を通じて医療機関に渡す。真庭保健所によると県内では珍しい取り組みという。杉本会長は「一人一人心を込めて書かせてもらった。少しでも励ましになれば」と話している。

お礼を述べた。

金田道弘理事長は「まだコロナに対する緊張感を解くことができないうち、勇気づけられる」とお礼を述べた。

杉本喜美恵連合会長と、製作に協力した保健所と真庭市の職員ら5人が訪問。受け取った

金田道弘理事長は「まだコロナに対する緊張感を解くことができないうち、勇気づけられる」とお礼を述べた。

お礼を述べた。

お礼を述べた。

お礼を述べた。

お礼を述べた。

お礼を述べた。

お礼を述べた。

お礼を述べた。

お礼を述べた。

お礼を述べた。